



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社サンドラッグ 上場取引所 東
 コード番号 9989 URL <https://www.sundrug.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 貞方 宏司
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 好伸 (TEL) 042 (369) 6211
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	371,707	9.6	20,609	11.3	20,953	11.6	14,054	10.5
2023年3月期第2四半期	339,223	3.8	18,511	3.2	18,769	2.9	12,722	2.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 14,102百万円(10.7%) 2023年3月期第2四半期 12,737百万円(0.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	120.20	—
2023年3月期第2四半期	108.81	108.81

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	369,884	244,667	66.1
2023年3月期	360,672	236,328	65.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 244,667百万円 2023年3月期 236,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2024年3月期	—	57.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	747,000	8.2	40,300	7.6	40,900	7.3	27,200	5.8	232.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	119,331,184株	2023年3月期	119,331,184株
2024年3月期2Q	2,379,457株	2023年3月期	2,407,916株
2024年3月期2Q	116,933,712株	2023年3月期2Q	116,923,350株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行し、行動制限緩和などによる人流の回復やインバウンド需要の緩やかな回復など経済・社会活動の正常化が進みました。一方、資源価格の高騰等による継続的な物価上昇や金融引き締めに伴う海外景気の下振れ等により、依然として、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、行動規制等緩和による訪日外国人増加により、インバウンド需要の緩やかな回復、外出機会増加を受け化粧品需要の回復が見られたものの、新型コロナウイルス感染症対策商品の需要減少や同業他社との出店競争や大手同士の業界再編、他業態との競争等、当社を取り巻く経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き「安心・信頼・便利の提供」をキーワードに、専門性を一層高め、お客様に必要なかつ期待される質の高いサービスレベルの向上、積極的な新規出店、デジタル化(省人化)等による更なる生産性の向上を図り、経費面においては店舗エネルギーの使用量抑制に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループ全体の出店などの状況は31店舗を新規出店いたしました。また71店舗で改装を行い、7店舗を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の当社グループ全体の店舗数は、ドラッグストア事業1,035店舗(直営店795店舗、㈱星光堂薬局77店舗、㈱サンドラッグプラス68店舗、㈱大屋57店舗、フランチャイズ店38店舗)、ディスカウントストア事業369店舗(ダイレックス㈱369店舗)の合計1,404店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,717億7百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益206億9百万円(同11.3%増)、経常利益209億53百万円(同11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益140億54百万円(同10.5%増)となり増収・増益となりました。

セグメント業績等の概要は次のとおりであります。

<ドラッグストア事業>

インバウンド需要は緩やかに回復し前年同期を上回っているものの、依然としてコロナ禍前水準の約50%程度で推移しております。外出機会増加等による化粧品需要と風邪薬の回復により既存店売上高が堅調に推移しました。また積極的な新規出店、100%子会社化した㈱大屋の効果等により、売上高が前年同期を上回りました。出店などの状況は、21店舗を新規出店し57店舗を改装したほか2店舗を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、ドラッグストア事業の売上高は2,427億93百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は130億63百万円(同10.6%増)となり増収・増益となりました。

<ディスカウントストア事業>

引き続き食料品が好調に推移したことに加え、ペット用品・風邪薬需要の増加等により、既存店売上高が堅調に推移し売上高が前年同期を上回りました。出店などの状況は、10店舗を新規出店し14店舗を改装したほか5店舗を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、ディスカウントストア事業の売上高は1,550億31百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は75億46百万円(同12.5%増)となり増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ92億12百万円増加し3,698億84百万円となりました。主な要因は商品の増加並びに、新規出店、改装による有形固定資産の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億72百万円増加し1,252億17百万円となりました。主な要因は買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ83億39百万円増加し2,446億67百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ40億66百万円減少し768億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ20億3百万円増加し234億15百万円(前年同期比9.4%増)となりました。これは主に棚卸資産並びに、税金等調整前四半期純利益が前年同期に比べ増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ96億69百万円増加し217億18百万円(前年同期比80.3%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ増加したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ15億53百万円増加し57億62百万円(前年同期比36.9%増)となりました。これは主に配当金の支払額が前年同期に比べ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表しました通期連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日(2023年11月14日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,872	76,806
売掛金	22,224	22,799
商品	82,700	86,169
貯蔵品	327	317
その他	19,787	20,264
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	205,907	206,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,341	74,794
その他（純額）	28,906	33,907
有形固定資産合計	100,248	108,701
無形固定資産		
のれん	1,671	1,613
その他	7,433	7,702
無形固定資産合計	9,104	9,316
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,825	26,928
その他	18,662	18,670
貸倒引当金	△75	△84
投資その他の資産合計	45,411	45,515
固定資産合計	154,764	163,533
資産合計	360,672	369,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,006	75,231
未払法人税等	8,249	7,337
役員賞与引当金	120	36
その他	30,872	31,379
流動負債合計	113,249	113,985
固定負債		
役員退職慰労引当金	303	309
退職給付に係る負債	1,993	2,071
資産除去債務	6,156	6,281
その他	2,641	2,569
固定負債合計	11,095	11,231
負債合計	124,344	125,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,931	3,931
資本剰余金	7,430	7,496
利益剰余金	230,658	238,867
自己株式	△3,940	△3,893
株主資本合計	238,080	246,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	122
土地再評価差額金	△1,805	△1,805
退職給付に係る調整累計額	△58	△50
その他の包括利益累計額合計	△1,781	△1,733
新株予約権	29	-
純資産合計	236,328	244,667
負債純資産合計	360,672	369,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	339,223	371,707
売上原価	257,026	278,757
売上総利益	82,196	92,949
販売費及び一般管理費	63,685	72,340
営業利益	18,511	20,609
営業外収益		
受取利息	60	60
受取配当金	3	4
固定資産受贈益	112	168
その他	100	141
営業外収益合計	275	374
営業外費用		
支払利息	15	14
その他	2	15
営業外費用合計	17	30
経常利益	18,769	20,953
特別利益		
違約金収入	5	133
固定資産売却益	0	0
その他	10	25
特別利益合計	17	158
特別損失		
減損損失	160	327
固定資産除却損	36	64
災害による損失	-	76
その他	75	49
特別損失合計	273	518
税金等調整前四半期純利益	18,513	20,594
法人税等	5,791	6,539
四半期純利益	12,722	14,054
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,722	14,054

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,722	14,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	39
退職給付に係る調整額	6	8
その他の包括利益合計	15	48
四半期包括利益	12,737	14,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,737	14,102
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,513	20,594
減価償却費	5,435	6,991
減損損失	160	327
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	90	77
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△83
契約負債の増減額 (△は減少)	158	378
受取利息及び受取配当金	△63	△64
支払利息	15	14
国庫補助金	△8	-
違約金収入	△5	△133
固定資産除却損	36	64
災害による損失	-	76
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,491	△574
棚卸資産の増減額 (△は増加)	945	△3,457
未収入金の増減額 (△は増加)	△275	86
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,697	1,224
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,022	400
その他	△859	4,217
小計	25,374	30,150
利息及び配当金の受取額	9	6
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△3,986	△6,874
補助金の受取額	8	-
違約金の受取額	5	133
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,411	23,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,946	△19,795
無形固定資産の取得による支出	△1,066	△1,274
貸付けによる支出	△126	△182
貸付金の回収による収入	3	-
敷金及び保証金の差入による支出	△503	△154
敷金及び保証金の回収による収入	558	231
その他	△967	△543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,048	△21,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4,208	△5,845
自己株式の取得による支出	△0	△0
ストックオプションの行使による収入	-	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,208	△5,762
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,153	△4,066
現金及び現金同等物の期首残高	89,330	80,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	94,484	76,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	195,297	143,925	339,223	—	339,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,655	5	24,661	△24,661	—
計	219,953	143,931	363,884	△24,661	339,223
セグメント利益	11,806	6,705	18,511	—	18,511

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	216,681	155,026	371,707	—	371,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,112	5	26,117	△26,117	—
計	242,793	155,031	397,825	△26,117	371,707
セグメント利益	13,063	7,546	20,609	—	20,609

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。